

## 「2011年3月期 第1四半期 決算説明コンファレンスコール」 質疑応答

### Q1)金融市場、流通・交通市場、海外市場の売上高が計画を下回っていますが、計画との差が出た要因を教えてください。

A1)市場動向を勘案して金融市場、流通・交通市場、海外市場は強めの計画を立て、遊技市場につきましては、前期の第4四半期以降の市場動向を勘案し、計画を低めに設定していたため計画対比では金融市場、流通・交通市場、海外市場は下回り、遊技は上回る結果となりました。しかし、前年同期と比較した場合、金融市場、流通・交通市場、海外市場は、前年同期の売上高を上回り、事業環境も非常に良好です。逆に、遊技市場、その他は前年同期を下回る結果となっています。

### Q2)ヨーロッパでの販売状況を教えてください。

A2)ヨーロッパについてはギリシャ危機以降、景気の悪化が心配されていますが、第1四半期の売上高は、OEMは対前年比+14億円、直販は-6億円となっています。先日のストレステストの結果から、現地の金融機関に大きな打撃はないのではないかと推察しております。また、ドイツやフランスでもユーロ安の影響で景気が回復しつつありますので、それほどの落ち込みはないのではと予想しております。

### Q3)遊技市場の事業環境はいかがでしょうか。

A3)最近では1円パチンコが増え、遊技人口が前年の1,580万人から1,720万人へと増加しておりますが、ピーク時に27.8兆円あった市場売上高が21兆円程度に落ち込んでいるという情報もあります。最近ではカードシステムの価格競争が激しくなっています。

### Q4)フィリピンに新工場を設立されるに至った背景を教えてください。

A4)今期はATM用紙幣入金ユニットの需要が回復してきており、現在はフィリピン工場内だけでは生産が追いつかず、隣接する建物を借用して生産している状況です。今後も海外市場の拡大に伴い、生産能力がさらに必要となることを想定し、現在のフィリピン工場の隣に、同程度の規模の工場を建設中です。また、国内向けのユニットの生産も、一部フィリピンに移管しております。尚、当社は、市場競争力を高めるために2011年度末までに海外生産・調達比率を30%とすることを目標に掲げております。

### Q5)ユーロを円高に設定し直されましたが、その影響と、それをどのようにカバーするのか教えてください。

A5)為替レートにつきましては、期初の1ドル85円、1ユーロ130円を、第2四半期以降は1ドル85円、1ユーロ110円に変更します。ユーロの為替の想定レート変更による営業利益への影響は、年間で10億円程度と予想しております。これは部品等の海外調達によるコストダウンと販管費の削減でカバーできると考えております。